

市における合理的配慮事例の報告について

市における合理的配慮事例（平成 30 年度報告分）

- (1) 調査月・・・平成 30 年 9 月（上期）、平成 31 年 3 月（下期）
- (2) 調査結果・・・11 所属から 23 件の事例報告（内容重複するものを含む）
- (3) 主な事例

場面	障がい種別	事 例 内 容
受付・窓口	視覚障がい	○市民病院正面玄関から診療科窓口までの案内は、介助者とフロア案内が連携し案内をしている。
	聴覚障がい	○新患受付に手話通訳者を設置し、平日（8：30～12：00）に手話通訳者が受診申込、検査、診察等に同行。手話通訳者が不在のときは職員が筆談で対応している。
	肢体不自由	○市民病院正面玄関に、車からの乗り降りを介助する介助者を平日（8：30～12：30）に設置している。車いす用新患受付記載台を設置している。
	精神障がい	○制度説明で、相手が理解しやすい言葉を使い、図を書いて説明するなどし、時間をかけて説明をしている。
	発達障がい	○極度の緊張症のため、面談時に声が出せなくなる、周りの人の目が気になるとの申し出があったため、個室において筆談により対応した。
移動・誘導	聴覚障がい	○がん検診時、付き添い誘導を行った。
	肢体不自由	○歩行が不自由な方から移動支援を求められたため、車いすに移乗させて、競輪場入場門から観客席まで移動介助を行った。
		○当課での手続き終了後、別の手続きがあるとの申し出があったため、担当課職員に来てもらうか、担当課まで同行してご案内するかを尋ねたところ、担当課へ行きたいとのことであったため、「ゆっくりで大丈夫ですよ」と声かけをしながら、担当課まで同行した。
情報提供	視覚障がい	○車いすを利用している方を、車まで誘導し、車への乗車及び車いすを収納する補助を行った。
		○美術館の作品について、学芸員が作品 1 点 1 点について、口頭で作品の情景や描かれた主題などの解説を行った。
		○会議に出席する委員から、拡大文字で資料を作成してほしいとの申し出があったため、指定されたフォントサイズで資料を作成した。